

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学小児科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年12月 福島県立医科大学医学部小児科学講座 講座主任 細矢 光亮

【研究課題名】

赤血球分布幅と先天性心疾患児の予後に関する研究

【研究期間】2020年12月(承認後)～2026年3月31日

【研究の意義・目的】

小児循環器医療の発展により、心臓病のこども達の救命率は向上しましたが、未だに重篤な心臓病では、出生直後から積極的な治療が必要です。将来にわたる運動機能や神経学的後遺症を残す可能性がある重要な疾患であり、成人になっても治療が必要になることもあります。どのような因子が、疾患の重症化や生命予後（死亡）に関連しているかについて、これまでに多くの研究がなされてきましたが、不十分な状況です。

血液の役割はたくさんありますが、最も重要な役割は酸素を体全体に配ることであり、赤血球は酸素の運搬を担う重要な成分です。赤血球数の大きさは様々で、その大きさの分布を赤血球分布幅（Red blood cell distribution width: RDW）といい、成人の心筋梗塞などの心疾患やがんにおいて重要な役割を示していることが明らかになってきました。しかし、心臓病のこども達におけるRDWの重要性については明らかにされていません。そこで、本研究では、当院の小児科に入院した心臓病のこども達のRDWと重症化・予後に関する研究を行います。RDWと疾患の予後との関連を明らかにすることで、治療法の進歩に役立つことが期待できます。

【研究の対象となる方】

・2006年1月から2026年3月に本学附属病院小児科に入院した先天性心疾患で、心臓カテーテル検査及び治療を行ったあるいは行う見込みの患者さん

【研究の方法】

上記対象者の、病歴、身体所見、各種検査データ（血液検査・心臓カテーテル検査・心電図検査・X線検査）などの情報をカルテから収集し、予後・重症化と検査データの関連について、統計学的手法を用いて解析します。

【研究組織】

研究責任者	(所属) 小児科学講座 (職) 教授	(氏名) 細矢光亮
研究分担者	(所属) 小児科学講座	(氏名) 林真理子
	(所属) 総合周産期母子医療センター	(氏名) 郷 勇人
	(所属) 総合周産期母子医療センター	(氏名) 桃井伸緒
	(所属) 小児科学講座	(氏名) 青柳良倫
	(所属) 小児科学講座	(氏名) 富田陽一
	(所属) 小児科学講座	(氏名) 川島綾子

【他の機関等への試料等の提供について】

なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 林 真理子
電話:024-547-1295
E-mail: mari0222@fmu.ac.jp、FAX:024-548-2177

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 林 真理子
電話:024-547-1295
E-mail: mari0222@fmu.ac.jp、FAX:024-548-2177